



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,203	8.6	675	48.3	923	98.3	496	112.1
30年3月期第1四半期	5,713	9.3	455	123.1	465	-	234	△89.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 613百万円 (65.0%) 30年3月期第1四半期 371百万円 (△79.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	45.82	45.72
30年3月期第1四半期	25.95	25.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	29,187	19,455	54.0	1,455.70
30年3月期	27,995	19,085	51.8	1,338.74

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 15,773百万円 30年3月期 14,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	16.00	-	18.00	34.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	18.00	-	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,900	9.2	1,050	△3.7	1,280	15.6	700	39.6	64.60
通期	26,300	9.6	2,000	△9.6	2,230	11.6	1,290	43.0	119.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	11,089,200株	30年3月期	11,089,200株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	253,568株	30年3月期	255,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	10,834,485株	30年3月期1Q	9,018,362株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国政権の政策動向や通商問題、地政学リスクの影響等に留意する必要があるものの、全体としては緩やかな回復基調となりました。

わが国経済においては、雇用・所得環境の改善が続くなか設備投資が増加し、個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取り組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化の出来る高付加価値な汎用製品及びターゲット市場により特化した特長を有した製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・地域に密着した営業体制を進め、昨年開設した名古屋営業所の強化、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応と営業基盤のより一層の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、ターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認定制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、相互の人的交流や共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター株式会社本社工場の第一工場への統合工事を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高62億3百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益6億75百万円（前年同期比48.3%増）、経常利益9億23百万円（前年同期比98.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億96百万円（前年同期比112.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、家電分野向けの売上が増加したほか、フェニテックセミコンダクター株式会社において車載分野向けの売上が増加したことにより、45億18百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器分野向けの売上が増加しましたが、デジタル家電等の分野向けの売上が減少したことにより、12億84百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が減少した一方で、家電分野向けの売上が増加したことにより、2億29百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、1億71百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は227億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億91百万円増加いたしました。これは主にフェニテックセミコンダクター株式会社において多額な資金の借入を行った事等により、現金及び預金が21億20百万円増加したことに加えて、たな卸資産が2億17百万円、受取手形及び売掛金が1億76百万円増加した一方で、有価証券が15億円減少したことによるものであります。固定資産は64億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億87百万円、無形固定資産が31百万円増加し、投資その他の資産が1億17百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、291億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億92百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は64億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億79百万円、未払法人税等が53百万円、賞与引当金が3億13百万円減少したことによるものであります。固定負債は32億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億79百万円増加いたしました。これは主にフェニテックセミコンダクター株式会社において多額な資金の借入を行った事等により、長期借入金が11億71百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、97億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億21百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は194億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億70百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3億円増加し、子会社増資引受等による資本剰余金9億80百万円の増加及び非支配株主持分8億99百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を踏まえ、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたします「平成31年3月期第2四半期（累計）連結業績予想及び平成31年3月期通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,834,842	12,955,498
受取手形及び売掛金	4,362,900	4,539,516
有価証券	1,600,000	100,000
たな卸資産	4,513,709	4,731,630
その他	359,278	434,437
貸倒引当金	△1,932	△824
流動資産合計	21,668,799	22,760,258
固定資産		
有形固定資産	4,294,474	4,482,214
無形固定資産	234,389	265,422
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	23,556	52,592
その他	1,798,974	1,653,077
貸倒引当金	△25,194	△26,177
投資その他の資産合計	1,797,337	1,679,492
固定資産合計	6,326,201	6,427,130
資産合計	27,995,000	29,187,388
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	984,648	1,033,984
短期借入金	2,483,191	2,303,306
1年内返済予定の長期借入金	1,102,863	1,181,610
未払法人税等	257,634	204,277
賞与引当金	450,961	137,633
その他	1,577,287	1,638,315
流動負債合計	6,856,586	6,499,127
固定負債		
長期借入金	1,393,569	2,565,446
退職給付に係る負債	263,810	273,796
株式給付引当金	26,728	33,832
その他	368,842	359,330
固定負債合計	2,052,951	3,232,405
負債合計	8,909,537	9,731,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	3,927,606	4,908,565
利益剰余金	7,949,646	8,250,140
自己株式	△416,335	△413,153
株主資本合計	14,428,851	15,713,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,868	△55,098
為替換算調整勘定	25,936	57,674
退職給付に係る調整累計額	58,536	57,397
その他の包括利益累計額合計	74,604	59,972
非支配株主持分	4,582,007	3,682,395
純資産合計	19,085,463	19,455,855
負債純資産合計	27,995,000	29,187,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,713,555	6,203,204
売上原価	4,026,437	4,282,182
売上総利益	1,687,117	1,921,022
販売費及び一般管理費	1,231,971	1,246,009
営業利益	455,145	675,012
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,936	11,684
為替差益	11,222	235,806
ロイヤリティ収入	1,237	1,680
その他	6,829	12,255
営業外収益合計	27,225	261,427
営業外費用		
支払利息	8,815	7,820
支払手数料	2,000	2,000
その他	5,616	2,674
営業外費用合計	16,432	12,495
経常利益	465,938	923,944
特別利益		
補助金収入	28,661	—
受取保険金	—	2,255
その他	—	231
特別利益合計	28,661	2,487
特別損失		
固定資産圧縮損	13,814	—
固定資産除売却損	—	3,713
その他	—	66
特別損失合計	13,814	3,779
税金等調整前四半期純利益	480,785	922,651
法人税等	136,723	279,802
四半期純利益	344,061	642,848
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,998	146,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,062	496,443

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	344,061	642,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,603	△60,298
為替換算調整勘定	1,865	33,406
退職給付に係る調整額	△2,566	△2,232
その他の包括利益合計	27,903	△29,125
四半期包括利益	371,964	613,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,052	481,812
非支配株主に係る四半期包括利益	118,911	131,911

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月2日開催の取締役会決議において、当社子会社であるフェニテックセミコンダクター株式会社が実施する第三者割当増資について全額引き受けることを決議し、平成30年4月18日に実行いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が982,615千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,908,565千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	3,944,110	1,413,233	214,677	141,533	5,713,555	—	5,713,555
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,522,222	94,318	11,024	11,051	1,638,617	△1,638,617	—
計	5,466,333	1,507,552	225,702	152,585	7,352,172	△1,638,617	5,713,555
セグメント利益	411,553	21,201	16,523	1,963	451,241	3,903	455,145

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額3,903千円には、セグメント間取引消去3,903千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,236,955	793,306	426,242	257,050	5,713,555

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	4,518,206	1,284,160	229,025	171,811	6,203,204	—	6,203,204
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,479,799	86,656	7,144	9,318	1,582,919	△1,582,919	—
計	5,998,006	1,370,817	236,170	181,130	7,786,123	△1,582,919	6,203,204
セグメント利益	642,307	24,219	14,379	11,767	692,674	△17,662	675,012

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△17,662千円には、セグメント間取引消去△17,662千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,812,509	791,175	345,759	253,760	6,203,204